

# 学校だより



平成 30 年 4 月 5 日  
横浜市立二谷小学校  
校長 石川 秀子

## さくらさく

学校長 石川 秀子

二谷小学校の皆さん、地域・保護者の皆様、御入学・御進級おめでとうございます。二谷小学校の平成 30 年度が始まりました。本日 61 名の新 1 年生を迎え全校児童 311 名での新年度のスタートです。

今年は桜の開花がことのほか早く、校庭の桜は満開を過ぎました。桜の花芽は前年の夏につくられ、その後は「休眠」という状態になるそうです。花芽は一定期間、低温にさらされることで「休眠打破」という開花準備を始め、気温が上昇すると成長するそうです。今年の冬は寒さが厳しく、また 3 月に入ってからの温かさで桜は一気に開花しました。厳しい寒さがあることで見事な花が咲く桜と、人の成長はどこか似ています。子どもたちがそれぞれの花を咲かせられるよう、私たちおとなも「よいことはよい。悪いことは悪い。」をしっかりと示せる存在でありたいと願う年度初めです。そして子ども自身が柔らかに多くのことを吸収し、物事を正しく判断し実行する力と考える力を身に付けられるよう、学校と家庭と地域とが連携し、ともに働きかけ続けたいと願っています。

今年も新年度早々の 4 月 4 日、新 6 年生が二谷小学校の最高学年として頼もしい姿を見せてくれました。教室や体育館、昇降口の準備や机移動、配付物の確認などに一生懸命に取り組む姿からも、「1 年生を気持ちよく迎えたい」という思いが伝わってきました。話を聞く姿勢、歌声、返事の仕方からも「今できることに精一杯取り組む」大切さを、行動で表していました。桜が冬の寒さの間も力を蓄え、一気に開花するように、毎年の新 6 年生も二谷小で受け継がれてきた思いや姿を自分の中に蓄え、表し続けていくのでしょう。子どもたちの一生懸命な姿は周りの人々に元気と勇気を与えてくれます。

創立 113 年を迎える今年も、子ども達が明るい挨拶を交わし合い、ありがたいの感謝の言葉が行き交う中、努力を忘れず成長し続けられるよう、様々な活動を通して皆様と共に取り組んでまいります。平成 30 年度も地域の皆様、保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。